

第4章

計画の目的・目標

第4章 計画の目的・目標

1. 目的・目標

目的：糖尿病や糖尿病性腎症の取組みを充実させることにより被保険者の健康の保持・増進を図り、生活習慣病や重症化疾患の抑制を目的とします。

目標：糖尿病について、各自の健康状態に合わせた生活習慣改善や医療機関受診などを行うことにより病気の早期発見、重症化予防・合併症予防に取り組むことを目標とします。

2. 重点的に取り組む健康課題の根拠

前期の計画でも挙げたように、特定健診の受診率は岐阜県内でも高く、医療機関の受診率も高くなっています。このことから疾病の早期発見・早期治療の意識は十分根付いて考えられます。一方で、重症化疾患（虚血性心疾患、脳血管疾患、人工透析など）における生活習慣病合併の割合が高く、生活習慣病の重症化予防や対策が課題となっています。

特に糖尿病については男女とも糖尿病性腎症（透析あり）の医療費割合が国や県と比べて高く、さらに高血圧、脂質異常症に次いで有病割合が高くなっています。糖尿病の悪化は先に挙げた重症化疾患のリスクを高めるだけでなく、基礎疾患に糖尿病があることで、その他のあらゆる疾患の治療を難しくします。健康寿命の延長や医療費の抑制のためには、糖尿病対策は引き続き重点的に取り組むべき課題と言えます。

施策的な背景としては、国の動向を受けて岐阜県では平成29年12月に岐阜県糖尿病性腎症重症化予防プログラムが策定され、糖尿病性腎症重症化予防に関する県下統一の取り組みが推進されました。神戸町でもこれに準じ、平成30年度より糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定し、取り組んでいく予定です。このデータヘルスにおいて重点課題として挙げた糖尿病対策と糖尿病性腎症重症化予防プログラムにおいて実施する事業は、大部分が重複しているため一体的に実施します。

3. 地域包括ケアに係る取組

神戸町国民健康保険においては、高齢者を多く多く抱えるという保険者等の特性をふまえ、医療・介護・予防・住まい・生活支援など暮らし全般を支えるための直面する課題などについて地域ケア会議に参加し、地域で被保険者を支える連携の推進を図ります。